

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月27日

計画の名称	中心市街地における防災・安全の向上（防災・安全）																				
計画の期間	令和07年度 ～ 令和08年度（2年間）										重点配分対象の該当		○								
交付対象	福岡県, 久留米市																				
計画の目標	久留米市の玄関口であるＪＲ久留米駅周辺の防災性・安全性の向上を図り、災害に強い安全安心なまちづくりを推進する。																				
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		5,818		A	5,818		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	—	(R8末)
1	事業施行区域における、防災機能の向上			
	事業施行区域内の老朽建築物の解消率〈防災機能の向上〉 ※当初現況値はH29年都市計画決定時点 (老朽建築物解消率 = 耐用年限の2/3を経過していない建築物棟数 ÷ 区域内の全建築物棟数)	13%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
※社会資本総合整備計画（重点） 広域的な玄関口としてふさわしい賑わいと魅力あるまちづくり（第2期）からの移行												

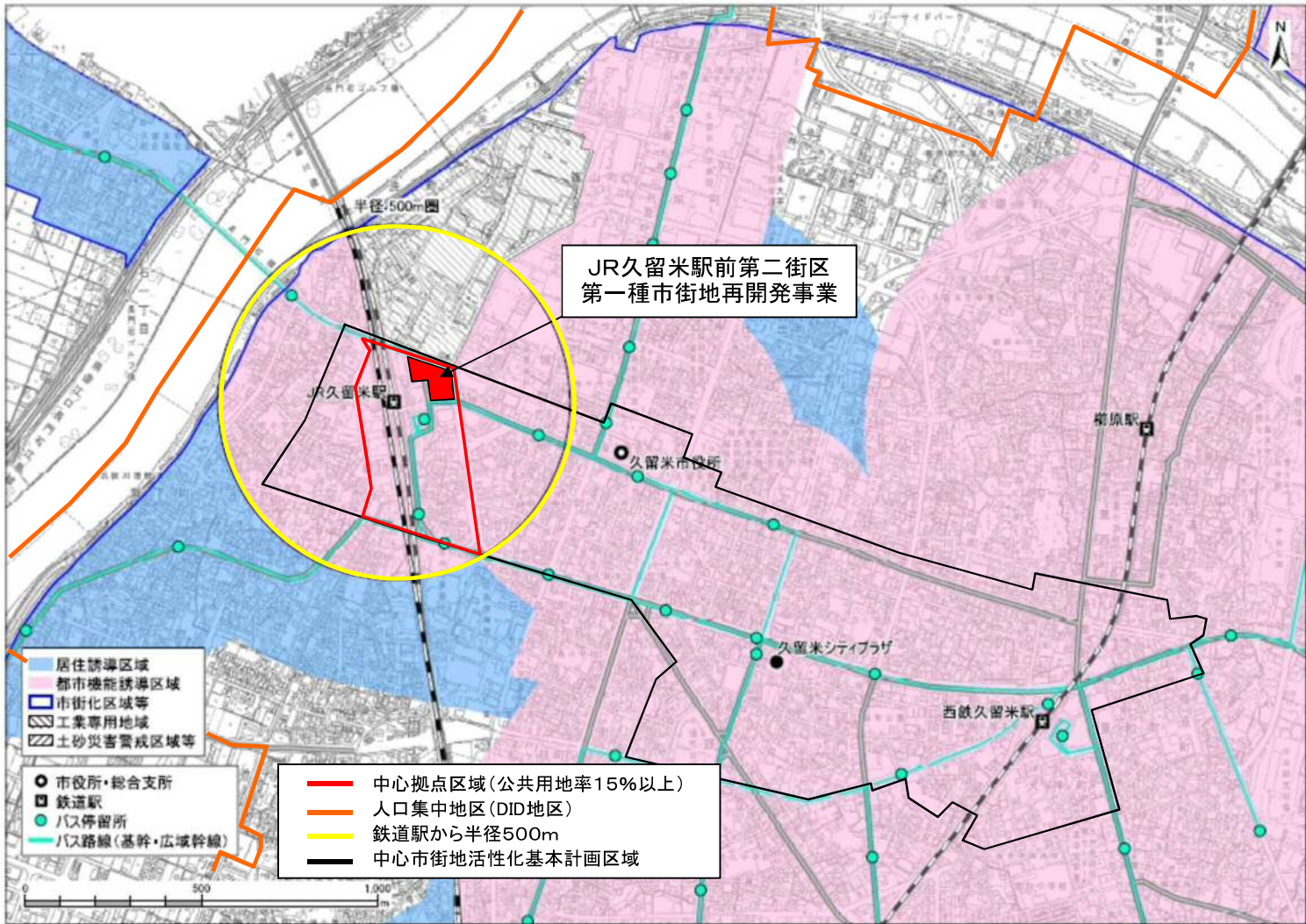
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	福岡県	間接	J R 久留米 駅前第二街 区市街地再 開発組合	－	－	J R 久留米駅前第二街区 第一種市街地再開発事業	市街地再開発 店舗、住 宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市	■	■				2,355	1.03	－
	A16-002	住宅	一般	久留米市	間接	J R 久留米 駅前第二街 区市街地再 開発組合	－	－	J R 久留米駅前第二街区 第一種市街地再開発事業	市街地再開発 店舗 、住宅、業務、駐車場等 1. 3ha	久留米市	■	■				2,355	1.03	－
	A16-003	住宅	一般	福岡県	間接	J R 久留米 駅前第二街 区市街地再 開発組合	－	－	J R 久留米駅前第二街区 第一種市街地再開発事業	防省緊（地域活性化タイプ） 店舗、住宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市	■	■				554	1.03	－
	A16-004	住宅	一般	久留米市	間接	J R 久留米 駅前第二街 区市街地再 開発組合	－	－	J R 久留米駅前第二街区 第一種市街地再開発事業	防省緊（地域活性化タイプ） 店舗、住宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市	■	■				554	1.03	－
											小計						5,818		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
											合計						5,818		

全体事業費や事業実施期間は計画期間内における数字であるため、必ずしもそれぞれの事業箇所全体の数字と一致しない。
また、予算確保の状況や用地買収の進捗などによる変更が生じるため、整備計画は随時見直しを行っている。

参考図面

計画の名称	中心市街地における防災・安全の向上（防災・安全）		
計画の期間	令和7年度～令和8年度（2年間）	交付対象	福岡県、久留米市



事前評価チェックシート

計画の名称： 中心市街地における防災・安全の向上（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と事業内容の整合性等 1) 整備計画の目標と定量的指標との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と事業内容の整合性等 2) 定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と事業内容の整合性等 3) 整備計画の目標と事業内容との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境 1) 整備計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境 2) 整備計画について住民等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥地元の機運 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥地元の機運 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○